

10月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

123,056円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代他)	46,616円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	12,669円
通信費(折込、携帯電話代)	65,771円
支出計 21/10/1~21/10/31	123,056円

寄付 匿名さん(7/14) 1,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
21/11/1

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

第198号

21500部発行

人口増減の地域差

2015-2021 人口増は、宅地開発やマンション建設が

■字別人口増減の地域差

市の人口は、国勢調査の際にリセットし、各月毎に増減数を加えることで人口を算出しています。今回は2015年国勢調査のデータで集計しています。

表1の地域区分別人口増減より、中央の人口減が多く、人口増だったのは川東北部だけでした。

表2に字名ごとの人口減ベスト20、表3に字名ごと人口増ベスト5を示します。

人口減は、市の縁辺部や主要駅から離れた所に目立ちます。

人口増は、宅地開発された所や小田原駅周辺のマンション建設が進んだ所となっています。

表1 地域区分別人口増減

字名	2015/10/1	2021/10/1	増減数	増減率 %
中央	64534	62,225	-2,309	-3.58
川東・南部	48074	46,637	-1,437	-2.99
富水・桜井	41529	40,409	-1,120	-2.70
橘	12128	11,488	-640	-5.28
片浦	1519	1,317	-202	-13.30
川東・北部	26302	26,325	23	0.09



人口減の字名

表2 人口減ベスト20

字名	2015/10/1	2021/10/1	増減数	増減率 %
久野	11,531	11,094	-437	-3.79
曾比	5,268	4,914	-354	-6.72
蓮正寺	8,123	7,819	-304	-3.74
板橋	3,788	3,526	-262	-6.92
栢山	8,060	7,809	-251	-3.11
小竹	2,749	2,508	-241	-8.77
中村原	3,253	3,061	-192	-5.90
城山一丁目	1,613	1,426	-187	-11.59
中里	4,723	4,547	-176	-3.73
酒匂二丁目	2,444	2,276	-168	-6.87
東町一丁目	1,801	1,639	-162	-9.00
酒匂四丁目	1,474	1,319	-155	-10.52
早川	1,269	1,119	-150	-11.82
前川	3,740	3,591	-149	-3.98
中曽根	2,539	2,404	-135	-5.32
風祭	1,124	991	-133	-11.83
北ノ窪	2,070	1,939	-131	-6.33
国府津	5,779	5,649	-130	-2.25
浜町四丁目	1,112	985	-127	-11.42
酒匂六丁目	501	381	-120	-23.95
扇町三丁目	1,450	1,226	-224	-15.4

表3 人口増ベスト5

	2015/10/1	2021/10/1	増減数	増減率 %
飯泉	5,588	6,008	420	7.52
柳新田	696	824	128	18.39
栄町一丁目	1,320	1,438	118	8.94
高田	2,542	2,643	101	3.97
小八幡一丁目	1,158	1,241	83	7.17

学校適正規模・適正配置検討へ

コロナ禍で出生数が減少しています。今後の小学校児童数の推移を示します。

表4に各小学校児童数の推移見込みを減少数順に並べ替えたものを示します。表面の表3より、人口減は、市の縁辺部や主要駅から離れた所に目立つと書きましたが、小学校の児童数の予測からも、今後5年間の増減に地域差があることがわかりました。

表4 小学校児童数の推移見込み

	2021	2022	2023	2024	2025	2026	26-21	増減率
豊川	629	605	597	565	524	492	-137	-21.78
三の丸	584	583	588	543	512	494	-90	-15.41
国府津	517	509	482	470	440	429	-88	-17.02
桜井	481	464	451	422	403	394	-87	-18.09
足柄	445	438	436	415	391	375	-70	-15.73
千代	527	508	516	491	466	462	-65	-12.33
下中	287	272	258	244	244	222	-65	-22.65
富士見	495	477	471	439	440	437	-58	-11.72
富水	561	543	515	494	512	511	-50	-8.91
下曾我	163	161	153	147	129	114	-49	-30.06
久野	275	260	239	243	241	234	-41	-14.91
大窪	175	176	170	144	142	136	-39	-22.29
曾我	96	88	76	70	58	57	-39	-40.63
早川	147	144	136	138	121	118	-29	-19.73
東富水	434	416	418	439	413	409	-25	-5.76
新玉	171	162	150	161	157	147	-24	-14.04
前羽	137	127	126	121	119	113	-24	-17.52
町田	285	277	272	280	272	270	-15	-5.26
酒匂	339	333	328	323	322	324	-15	-4.42
報徳	327	332	325	320	306	312	-15	-4.59
山王	186	187	190	186	185	178	-8	-4.30
下府中	321	312	312	309	313	315	-6	-1.87
片浦	88	90	90	90	90	90	2	2.27
矢作	524	533	524	535	547	526	2	0.38
芦子	487	494	525	506	489	499	12	2.46
小学校計	8,681	8,491	8,348	8,095	7,836	7,658	-1,023	-11.78

児童数減少の多い小学校順では、
豊川小学校：-137人（-21.8%）
三の丸小学校：-90人（-15.4%）
国府津小学校：-88人（-17.0%）

となっています。豊川小と三の丸小は、地域の人口が増加しても（表3）児童数が減少しています。これは、児童のいない世帯の転入が増えているとみることができます。コロナ禍で人口増の湘南地域では、保育園の新設等が新たな課題となっていますが小田原市ではありません。

次の児童減少順は、桜井小、千代小、下中小、富士見小、富水小となっており、郊外の住宅地に所在したものとなっています。

また、各学年1学級となりうる**全校生徒210名以下の小学校が25校中8校**になります。中でも、曾我小学校については、2026年の児童数見込みが57人となり、現在小規模特認校として学区外からも児童を受入れている片浦小学校を下回ってしまい早急な対策が必要です。しかし、片浦小学校と異なり電車通学等できる環境にないため、小規模特認校としても児童数増加は簡単な課題ではありません。

学校生活は、毎日のことであり、通学安全や教育はしっかりと保障していかなければなりません。

■新しい学校づくり推進基本方針策定へ

2022年度及び2023年度に、小田原市では、**学校の適正規模・適正配置及び子供たちにとって望ましい教育環境**の基本的な考え方をまとめた「**（仮称）新しい学校づくり推進基本方針**」を策定します。

策定には、小田原市新しい学校づくり検討委員会を設置し、市民意見を最大限反映させながら合意形成を図るため、学校・地域関係者を対象としたアンケートや、説明会・意見交換会等の開催を予定しています。

これらの策定業務を円滑に進めるため、学校施設の計画策定等に精通した事業者支援を委託します。

■お知らせ■

議会報告会は、当面の間、中止します。

訂正 197号 9月の感染者数は、352人でした。



公式HP
月刊武松パツナパ-他



facebook
武松 忠



ハザードマップ
一覧

NHK
ニュース防災

App Store
Google Play
からアプリを
ダウンロード



▲北條五代祭りにて